

1978年

世界遺産第一号写真

1、ガラパゴス諸島（エクアドル）

各大陸とは隔絶された独自の進化を遂げた固有種が多く存在する。天敵になるような大型の陸棲哺乳類が存在しない。



2、イエローストーン（アメリカ）

この国立公園は様々な間欠泉や温泉、地熱によるその他の見所でも有名であり、グリスリーや狼、及びアメリカバイソン（バッファロー）やワピチの群れが生息している。



3、クラクフ歴史地区（ポーランド）

城壁をこえ旧市街に入ると古都という名にふさわしく美しく歴史を感じる街並みが、穏やかな雰囲気を感じさせる。



4、アーヘン大聖堂（ドイツ）

その特徴はなんと言ってもロマネスクとゴシック様式の混在。建物の中に入ればモザイクやステンドグラスに目をひかれます。



5、キト市街（エクアドル）

キトの市街は保存状態の良さが高く評価されている歴史地区であり、16世紀には南米大陸におけるキリスト教布教の拠点だったことから、かつては「アメリカ大陸の修道院」の異名をとった。



6、ラリベラの岩窟教会群（ザグウェ朝） （エチオピア）

その名の通り、石を削り貫いて作り上げたエチオピア正教会の教会堂群で、世界の石造建築史から見ても非常に重要な建造物である。



7、シミエン国立公園（エチオピア）

エチオピア最高峰（アフリカ大陸第4位）のラス・ダシェン山（標高4620m）をはじめとする高山が続き、「アフリカの天井」とも呼ばれている。



8、ヴィエリチカ岩塩坑（ポーランド）

特筆すべきは、観光客向けの3.5kmの坑道で、歴史上や神話上の様々なモチーフを象った彫像が並んでいる。その全ては、坑夫たちが信仰のために岩塩を彫り上げたものである。



9、ナハニ国立公園（カナダ）

カナダで初めてユネスコの世界遺産に登録されたこの国立公園は、文明から遠く離れているものの、山頂から山頂へと軽々渡り歩き、安全にトレッキングをすることができます。



10、ゴレ島（セネガル）

奴隷貿易の拠点として栄えた史跡を背景として、負の世界遺産にも数えられている。



11、メサ・ヴェルデ（アメリカ）

断崖が連なる高地ですが、その絶壁の岩窟の中に集落跡が600以上も残されています。



12、ランス・オ・メドー国定史跡 （カナダ）

グリーンランド以外の北アメリカで、唯一ヴァイキングの入植地として確認されている遺跡である。

